

中学社会科における 生徒の反応を引き出す発問の工夫

— 知識習得を目的とした授業実践 —

学籍番号 179972
氏名 柿野起也
主指導教員 庭山和貴

1. 背景

1.1 実践研究の背景

本実践研究では、中学校社会科において、知識の習得と活用を目指した授業を実践し、その効果検証をおこなった。現在の学校教育では、各教科で知識を習得させることと、習得した知識を社会で活用できるようにする力を養うことが求められている。これは中学校で2021年から全面施行される新学習指導要領にも記されており、文部科学省(2016)は、『基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成との両方が必要である』としている。

木原(2012)は、習得と活用はそれぞれ独立したものではなく、相互に作用することで学力の向上につながると述べている。岡田(2015)の実践では、知識の習得は知識を反復して活用しているかどうか起因しているとしている。

以上より、本実践では、①生徒に知識を反復して用いさせることで習得を促す。②習得した知識を活用させることで、知識の定着と活用力育成を図る。以上の二点を目標とした実践を行った。

2. 実践研究

2.1 実践研究 I

実践研究 I では、グループワークを通して、知識を活用するための基盤となる知識の習得を促すことを目的とした実践を行った。そのために、グループワーク内での発問を工夫し、出口(2011)が指摘するグループワークの問題点を踏まえて構成した取り組みを行った。その結果、グループワーク後に記述の改善が見られた生徒が半数を下回る等、知識の習得に関して課題が残った。これは事前の習得がなかったため、狙いとする用語をかける生徒が少なかったことが原因だと考えられた。

2.2 実践研究Ⅱ

実践研究Ⅱでは、知識の習得と習得した知識を生徒が活用できるようになることを目的とした実践を行った。本実践では特に、実践研究Ⅰの課題から、活用と知識の習得を体系的に行うために、小林(2011)のモデルを取り入れた。授業を「知るための活動」・「分かるための活動」・「生きるための活動」に分類し、各活動で発問と生徒に期待する解を設定することで、授業内で習得させる内容を明確にした。その結果、知識の習得に関しては、プレ・ポストテストの該当する問題の点数が、有意に差が出る等、伊帝位は行えたものの、ポスト段階でも、半分を割る等、十分ではなかった。また、活用力に関しては、プレ・ポストテストにおいて有意な差が見られなかった。ポストテストの各問題の正答率について分析した結果、複数の活動で用いた用語は習得できたが、一つの活動でしか用いなかった用語は十分な習得が行えないということが分かった。

2.3 実践研究Ⅲ

実践研究Ⅲでは、生徒に活用を行うための基盤となる知識の習得を促すことを目的とした実践を行った。実践研究Ⅱの成果から、授業において、重要な用語を反復して用いる機会を取り入れた。そのために、授業内において重要な用語をあらかじめ選定し、さらにこれらの用語に関する発問を工夫しておこない、生徒の反応を引き出すことで、知識の習得を目指した。プレ・ポストテストでt検定を行った結果、有意な差が見られる等、狙った用語に関して、知識の習得を行うことができた。一方で、本実践における課題として、活用力の育成に関しては評価を行うことができなかったことが挙げられた。

3. 総合考察

3.1 考察

本実践を通して得たことは二点ある。①生徒に授業内で習得させたい語句を反復して用いさせた方がより習得を促すことができる。これは、実践研究Ⅰの「知るための活動」内における習得の差と実践研究Ⅱにおける成果である。②活用レベルの問題を解くためには習得ができている必要がある。これは、実践研究Ⅰ及び実践研究Ⅱにおける課題の考察からわかったことである。以上の点から、知識の習得を行うためには、その知識を授業内で反復して用いる機会を作ることが重要だということが分かった。本実践では、より効果的に反復し、習得を促すために事前に重要な用語を絞り、小林(2011)のモデルを参考に活動を分類し、活動ごとに発問を設定した。ここから、各活動で学ぶことを明確にし、生徒に反復させ、習得を促す内容をクリアにした。また、生徒に反復させる際には、ただ反復するのではなく、「書く・復唱する・地図帳から探す」等、様々な形で反復させた。

本実践研究は、これらの工夫を授業において積極的に取り入れることによって、生徒の反応を引き出し、知識の定着を促すことができることを示した。本実践研究における課題は、活用力の評価を行うことができなかった点である。今後の実践では習得させた知識をどのように活用させるかという観点から、活用力についても注目し、検証を行うことで、習得と活用力の育成を同時に満たすことができる授業実践を行う。